

## 「症例に見る材料特性の活かし方」

- ・抄録

日本国内での歯科用 CAD/CAM システムは、2005 年 4 月に歯科用ジルコニアが厚生労働省の薬事承認を得たことにより普及が始まった。

当初、歯科用 CAD/CAM システムを使用して製作する補綴装置の材料は、自費診療にのみ使用できる材料であった。しかし、2014 年 4 月に保険導入されて以降、ハイブリッドレジンブロックの加工を中心に歯科用 CAD/CAM システムが普及し、あわせて様々な種類の歯科用 CAD/CAM 材料が登場した。

高レベルかつ安定した品質の補綴装置の製作が行えることが最大の特徴の歯科用 CAD/CAM 材料だが、日常臨床において様々な材料の特性を理解し、その素材の持ち味を十分に生かすには工夫が必要である。

そこで本講演では、その選択肢の豊富さが悩みである場合が多い歯科用 CAD/CAM 材料について、特性や活かし方などを紹介していきます。

(株) キュステデザイン 濱本範俊